

地域支援だより



# スマイルサポート



No. 5 令和8年1月14日発行

## 県北地区高等学校特別支援チーム研修会を開催しました

10月29日（水）、大館桂桜高等学校で、県北地区高等学校特別支援チーム研修会を開催しました。研修内容や参加者の感想を紹介します。

講演『就職を目指した進路選択や自己理解に向けた支援  
～特別な配慮が必要な学生に向けて～』

講師：秋田障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 中村 絢子 氏

特別な配慮が必要な生徒の進路選択や自己理解に係るアプローチについて具体的な事例を交えて紹介していただき、特別な配慮が必要な生徒への関わり方や有効なツールについて理解を深めることができた講演でした。

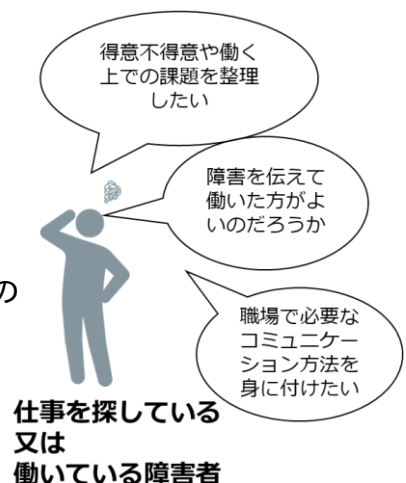


### 1、秋田障害者職業センターについて



秋田障害者職業センター

相談内容の  
例



★障害者と企業、関係機関に対して必要な支援を行っています。

### 2、進路選択や自己理解に係るアプローチ

#### ①本人の考えや思いを捉える手立てを多く持つ

面談場面で考えや思いが表出されないことが多い。

背景には…言葉の理解が難しい、言葉にしづらい、したくない、情報の整理が苦手、葛藤状況にある、など



#### 「言葉の理解力」と「話したい（話せる）気持ち」を分けてアプローチする

＜言葉の理解力＞

- ・本人に理解しやすい言葉を選ぶ、ゆっくり話す、繰り返す
- ・ワークシートに状況を書いてもらってから内容を確認する
- ・紙やホワイトボードに書いて整理する

＜話したい（話せる）気持ち＞

- ・答えやすい質問（YES、NO選択肢）
- ・本人が話しやすい話題から話す
- ・話せることだけで良いことを伝える
- ・何度か面談して信頼関係を構築する

## ②適切な自己認識をもつために、身になる体験を積み重ねる

「好きな仕事」「やってみたい仕事」から「向いている仕事」を考えるアプローチが必要。



- ★仕事は会社から与えられ、「他者評価で自分の価値が決まること」の理解
- ★体験したことを次の段階につなげていくためには、様々な角度からの分析とフィードバックが必要。※生徒任せにはしてはいけない。ここが教師の出番！

### 【参考ツール】

I 日常生活	1	生活のリズム	起床、食事、睡眠など規則正しい生活リズム	1	体力	1日（7～8時間）を満して作業ができる
	2	健康状態	健康に気を付けて健康管理し、良好な体調を保つ	2	指示内容の順守	指示通りに作業する
	3	身だしなみ	場に合った服装、清潔	3	機器・道具の使用	作業機器や道具類を教えられた通りに正しく使える
	4	金銭管理	小遣い等を計画的に使う、必要な物を買う、保管する	4	正確性	ミスなく正確に作業する
	5	交通機関の利用	通学に交通機関を一人で利用できる	5	器用さ	器用に作業する
	6	規則の順守	規則や決められたことを守る	6	作業速度	必要とされる作業速度がこなせる
	7	危険への対処	危険と教えられたことをせず、自分の安全を考えた行動	7	作業変化への対応	作業の内容、手順等の変化に対応できる
	8	出席状況	正当な理由のない遅刻・早退・欠席はない	1	就労意欲	社会に出て働く意欲がある
II 対人関係	1	挨拶・返事	相手に応じた挨拶・返事	2	質問・報告・連絡	必要な時に適切な質問・報告・連絡ができる
	2	会話	会話に参加し話についていける	3	時間の順守	時間（作業開始、締め切り等）を守る
	3	意思表示	自分の意思を相手に伝える	4	積極性	自分から積極的に取り組む
	4	電話等の利用	要件を伝えるのに電話、メール等を使う	5	集中力	作業への集中力がある
	5	情緒の安定性	感情のコントロールができる	6	責任感	与えられた作業や当番などは最後までやる
	6	協調性	他人と力を合わせて助け合う	7	整理整頓	作業場の整理整頓ができる

↑ 就労支援のための訓練生用チェックシート

ナビゲーションブック →

ナビゲーションブック

このナビゲーションブックは私が御社で勤務するにあたって、持てる力を発揮するために自分自身が努力したいこと、会社の方に配慮をお願いしたいことをまとめたものです。参考にさせていただけると幸いです。

私は自閉症スペクトラムという診断を受けています。基本的にはまじめで、記憶力もある方ですが、人とのコミュニケーションが不得意です。具体的な状況については以下の通りです。

① セルフポイント	<b>職務遂行について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中力が高く、コソコソと作業に取り組む事が得意です。</li> <li>・決まったスケジュールに従って、取り組む事は得意です。予定が変更になっても何をすればいいのかが分かれば対応できます。</li> <li>・指示はメモに取り、見返すようにしています。</li> <li>・作業手順は自分で手順書にまとめて、活用することができます。</li> </ul>
対人面について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しい対応ができます。</li> <li>・挨拶は誰に対してもはっきり大きな声でできます。</li> <li>・作業上必要な報告、質問は確実にできます。</li> </ul>
考え方・行動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミスをしたときは、次以降でどんな対策をすればいいかを自分なりに考えて実行するようにしています。</li> <li>・新しいことは緊張しやすいですが、2～3日で慣れて問題なく対応できます。</li> </ul>
② 苦手なこと	<b>職務遂行について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭だけの指示では情報が抜けたり、勘違いをすることがあります。</li> <li>（対策）手順書を作成したり、メモをとったりしています。</li> <li>・過集中になりやすく、周りからの声かけに反応できないことがあります。</li> <li>（対策）無視しているわけではないので、再度声をかけていただけると有難いです。</li> <li>・同じ作業を1時間以上続けるとミスをしやすくなるなど、仕事のパフォーマンスが落ちる可能性があります。</li> <li>（対策）1時間に1回、5分程度の小休憩をとるとパフォーマンスを維持できます。</li> <li>・作業中にイレギュラーな事態が発生したり、ミスをしてしまった時に慌ててしまうことがあります。</li> <li>（対策）原因の具体的な解決方法が分かれば落ち着くことができます。</li> </ul>

### ～参加者の感想～



障害や特性の有無に関わらず自己理解ができるツールが多く存在している  
と知ることができ、自分自身も活用してみたいと思った。

必要な場面で適切な他者評価を生徒にフィードバックし、自信を高めつつも、本人に合った進路が選べるような丁寧なサポートが必要だと分かった。

### 実践発表 『進学時における合理的配慮について』

大館鳳鳴高等学校 富樫さつき先生から自校の取組について実践発表をしていただきました。実践事例の発表を通して、大学進学時の合理的配慮の実際や切れ目のない支援の大切さを学ぶことができました。実施した支援内容や、支援を行ったタイミングについても具体的にお話をいただき貴重な機会となりました。ありがとうございました。



## センター的機能をご活用ください

自校（園）に特別な支援が必要なお子さんが在籍する場合には、ぜひ本校のセンター的機能を積極的にご活用ください。

- ・就学先や進路先に関する相談
- ・特性に応じた学習や療育に関する相談
- ・ケースに応じたアセスメントの実施
- ・職員、保護者向け研修会のお手伝い
- ・ケース検討会での助言
- ・お子さんや保護者との面談への参加

### 地域支援担当【問い合わせ先】

比内支援学校 教諭（兼）教育専門監 藤田久美子  
特別支援教育コーディネーター 根本 陽子  
TEL 0186-55-2131 FAX 0186-55-2132

